

NS MAGAZINE

2018 JULY

セカンドカーにも最適
使えて遊べるプリウス
TOYOTA PRIUS

newstylemag.com

アメリカンラグジュアリーを中心としたカスタムカーマガジン
US LUXURY, SPORT, EURO, DONK and more

Grafis
mook



LX/LC熱上昇中!

SPRING FESTIVAL OF LX #13
アメリカのクライスラーLX系イベントの盛り上がり

2018 SPRING
全国イベント前半戦一挙8本レポート

cover car
GREEN GOBLIN
1971 CHEVROLET CAPRICE



NS SPECIALTIES

NS ROUNDER VOL.5 TOKYO アワード獲得車両



オーナーの高山さんは、SOLID C.C.に加入して8年ほど。以前所有していたランドクルーザーからの乗り換えで、この300Sは26インチ履きのルックスよりも、細部にまでこだわったインテリアの作り込みとサウンドシステムに注目したい。

SPECIFICATIONS

EXTERIOR : LATE MODEL 300 FACE, TIARRA GRILLE, ONE-OFFED REAR DIFFUSER, BLACK PAINTED ROOF

INTERIOR : ONE-OFFED REAR CENTER CONSOLE, LED LIGHTS, ONE-OFFED DOOR PANELS WITH LED LIGHTS

SOUND SYSTEM : JL AUDIO C3-650 SPEAKERS, JL AUDIO 10w6v3 SUBWOOFERS, JL AUDIO 8w3v SUBWOOFER, JL AUDIO XD600/1v2, XD400/4v2, XD300/1v2 AMPLIFIERS, HELIX DSP, 2 DIGITAL SIGNAL PROCESSOR, CUSTOM REAR PANEL

SUSPENSION : ONE-OFFED COIL OVERS

TIRES : LEXANI LX-THIRTY F=275/25-26 R=275/25-26

WHEELS : CUSTOM PAINTED FORGIATO FIORE 26inch F=9.5J+25 R=10.5J+25

MISC : ONE-OFFED EXHAUST PIPES

NS SPECIALTIES

NS ROUNDER VOL.5 TOKYO

COOL

2013 CHRYSLER 300S



定番アイテムのリトルツリーをモチーフに、エンブレイヴィングの手法を用いてワンオフで作られたプレートは、カークラブのメンバーから贈られたもの。カークラブのロゴほか、オーナーのニックネームであるDaiと大きく彫られている。

シンプルにストックのブラックレザーで覆われたインテリアだが、実はさめ細かなプランを実現させたカスタムが多数。ヘッドレストのカークラブの刺繍ほか、リアシートはセバレット化して、ウオーターフォールデザインのセンターコンソールをセット。すべてのLEDの色温度を統一させているあたりも、非常に凝った仕様ともいえる。そのほか、各部の詳細は次のページにて。



ベテランらしいカスタムを盛り込んだ至極のクライスラー300S

長い経験によって磨き上げられたセンスは、やはり見る者を魅了するというのがよくわかるのが、このクライスラー300Sだといえる。外観はシンプルなシルバーで、インテリアはブラックという配色ながらも、その圧倒的な存在感は、ビッグリム装着のおかげだけではない。クオリティの高いオーナーがこだわり抜いた細部のカスタムこそが、この300Sが放つオーラを導き出しているのだ。

ベースは前期の13年モデル。定番にして王道だが、フェイスは現行モデルの300用にチェンジ。上下ともにクロームメッシュのティアラグリルを装着して、まさに最新のフェイスを獲得。インテリアはストックのブラックレザーシートながらも、ヘッドレストにはカークラブのロゴを刺繍。そしてなんと、リアシートはセバレット化して、センターコンソールをデザインしたことによって、既存の300とは一線を画すクルマになっている。

何気なく澄み切ったホワイトに光るインテリアのLED類は、ヘッドライトなども含めて「すべて」色温度を厳密に統一させている。室内灯など、見逃されがちなポイントも、すべて抜かりなく交換されているあたりも、ベテランらしいこだわりだ。さらに目を惹いたのが、近年のメルセデスのインテリアに採用されている立体的なLEDの間接照明を、このダッシュパネルのデザインに合わせて製作したところだ。平面的なダッシュとドアパネルに、LEDの間接照明を取り入れることは、ちょっと想像しただけでも簡単ではないことがわかる。あらゆるクルマのデザインを参考にし、それをナチュラルに取り入れるには、やはり経験値の高さと、それを実現させるビルダーとの関係も欠かすことができない要素だ。

実はこれらLEDの統一感というのがかなり効果的というのが、現車を見た率直な感想だ。リアトレイにはブラックと立体的にデザインしたサウンドシステムをレイアウトしたことにより、そのリアビューは遠くからでも存在感を示すものとなっている。このシーンにおいては国内の創世記から第一線で活躍し続けるSOLID C.C.のメンバーとして、今年で8年目を迎えたオーナーは高山さん。これまでの経験から導き出したトータルイメージを、巧みに実現したといえるだろう。

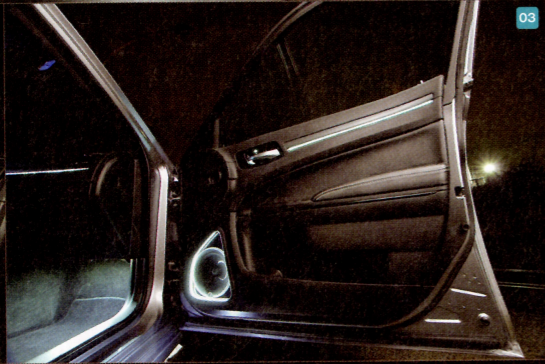
text & photographs by MASAHITO HAYASHI special thanks to TAKEUCHI AUTO www.takeuchi-auto.com 0465-22-4821 owner: DAISUKE TAKAYAMA SOLID C.C. < CHIBA >



01



02

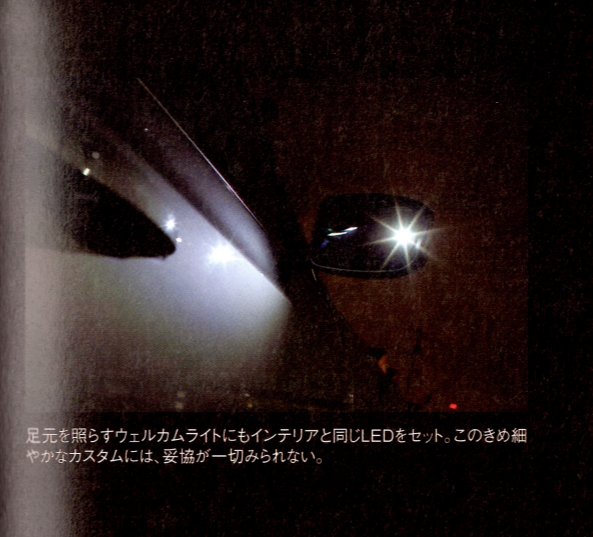


03

01 シートをセバレート化して、曲線基調のセンターコンソールを新設。その上部にはJL AUDIOのサブウーファーとアンプをセット。間接照明には他と色温度を統一させたLEDを埋め込む。02,03 メルセデスのインテリアからインスパイアされたというLEDのデザインを、ダッシュとドアパネルのトリムモールディングに再現。平滑なパネルの一部に切り込みを入れ、間接的な光をLEDで実現している。フロントドアパネルは、JL AUDIOの2way 16.5cmのミッドスピーカーをセット。そのマウントもオリジナルでデザインされたもので、その周囲にはLEDを埋め込む。



リアトレイ上に大胆にデザインされたサウンドシステム。特に夜間はその存在感に圧倒される。ワンオフのリアトレイにJL AUDIOのサブウーファー2発をトランク内に向けてマウントし、その周囲を囲むようなデザインのパネルが覆う。この部分も同一の色温度で合わせたLEDによる光の主張が際立つ。限られたスペースを有効に活用しつつも、HELIX DSP,2プロセッサーによる質の高いサウンドと、突き上げるパワーを兼ね備えている。



足元を照らすウェルカムライトにもインテリアと同じLEDをセット。このきめ細やかなカスタムには、妥協が一切みられない。



ホイールはFORGIATOのFIERO 26インチ。ディスク部をボディ同色のピレットシルバーにカスタムペイント。溝部分はキャンディーブラック。センターキャップはホイールの回転に関係なく同じ位置を維持するフロータータイプに変更。26インチ装着にあたり、インナーフェンダーの加工とワンオフの車高調で足元のバランスを確保。これらの丁寧な作業は、TAKEUCHI AUTOによるもの。



2013 CHRYSLER 300S

2016年にフェイスリフトされた現行フェイスに移植し、グリルにはディアラのクロームメッシュを装着。実はポジションのLEDも他と色温度を合わせるためにすべて交換されている。もちろんレンズにも曇り一つない徹底したクリーンさを維持。



ワンオフのリアトレイデザインとサウンドシステム、ブラックが立体的に浮かび上がるリアビュー。ボディはシンプルながらも、リアバンパー下はワンオフのディフューザーに、4本出しのマフラーエンドをセット。